

RSNA に参加して

椿 史裕

今回、RSNA に参加できることになり、シカゴに行かせていただきました。

実は、海外に行ったことが無く、初めての海外旅行が RSNA という大きな学会ということになりました。

シカゴのイメージとしては、テレビやドラマ「ER」などでみたイメージとして、都会だが非常に寒く、また NBA のブルズや、MLB のカブスなどスポーツが盛んな土地というイメージでした。

日本出発時に成田空港の天候不良により、出発まで 4 時間待たされましたが、出発後は無事にシカゴへと到着しました。

入国審査ですが、学会がすごい大きいこともあり、入国目的も学会名をいうと通過できるという日本じゃ考えられないことでした。おかげですんなり入国でき、ほっとしました(なぜか東南先生は入国審査時に別室に連れていかれましたが(汗))。

当日は到着が大幅に遅れたため、ホテルの近くで夕食を食べてあとはゆっくりホテルで過ごしました。

当然テレビ番組も英語で、戸惑いましたが、中学～大学時代に NBA にはまっており、ESPN のニュースを見ていたこともあり、スポーツ番組はなんとかわかりました。アメリカはカレッジスポーツも盛んであり、アメフトやカレッジバスケットなどが平日の夜に放送されるなど、日本では考えられないことでした。また、スポーツニュースの再放送も多くありました(国が広く時間が広いためでしょうか?以前、ER の生放送も西地区と東地区にわけてました)。

また温度の表記も違い、すぐにはわかりませんでした。

初日はそうでもありませんでしたが、イメージ通りシカゴは非常に寒かったです。

学会期間中はホテルのすぐ近くに臨時のバス停ができており、翌朝バスに乗って会場に行きました。会場の規模が非常に大きかったです。

世界的な学界ということもあり、いろいろな国の人が集まっていました。所々で日本語も聞かれ、思ったより日本の病院からも多くの人 coming いるようでした。

また、今回は記念すべき第 100 回大会でした。

第 100 回大会ということで、会場のいたるところに 100 回目のマークや記念品グッズが置いてありました。特に 100 回目の大きなオブジェは記念撮影ポイントとして、いろんな人々が撮影されていました。後日、参加されていた先生方と記念オブジェの前で記念撮影をしました。

到着後は、まず開会式に参加しました。

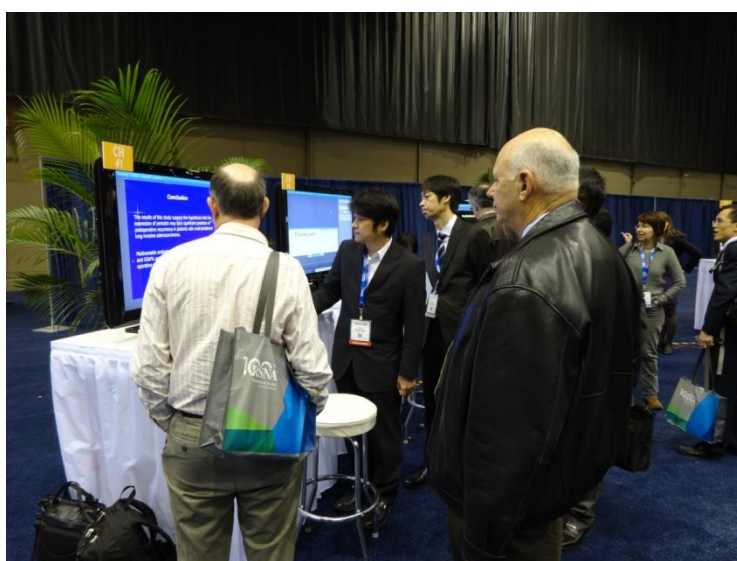
巨大なモニターで式典が行われていき、テレビショーを見ているような印象でした。

英語を部分的に聴きとるのでいっぱい、発表者のジョークなど細かい点がわかりませんでした。英語が話せたらわかったのにと感じてしまいました。

開会式が終了後、それぞれの講演を聞きに行きました。会場が巨大であり、プログラムも分厚いため、分野別に小さなプログラムもあり、大変便利でした。

言葉を聞きとるのに大変であり、所々聞き取れないこともありましたが、スライドの閲覧を含めて、大変勉強になりました。

岩本先生や久能先生のポスター発表を見せていただきました。たくさんの方が見られており、次々と英語で質問され、質問を理解し、それに答える様子を見て、自分も同じ立場なら答えられるだろうかと思いました。



発表前と発表中の岩本先生。発表中はたくさんの質問がありました。

また、学会以外に観光と料理を堪能しました。観光として、シカゴ美術館と自然史博物館に行きましたが、どちらの建物も「非常に大きい！」というのが第一印象でした。貴重な展示物がたくさん展示されていますが、全部見ると何時間かかるんだろうというのが印象です。



シカゴ美術館とレンブラントの絵画「黄金の鎖をつけた老人」

食事に関しては、食事の量が非常に多かったです。一品の量が非常に多く、日本の感覚で頼むと食べきれない状態であり、印象として一人一品で頼むよりは人数分より少し少なめで頼むとちょうどいい具合でした。

肉も食べましたが、大変量が多かったものの、意外とあっさりしており、食べやすかったです。

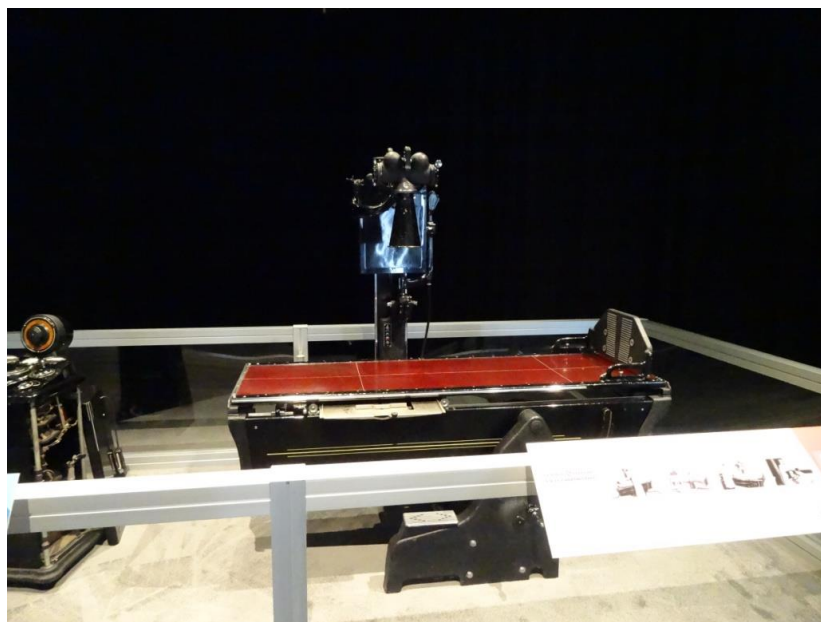
大会期間も進み、帰国日を前にして、会場内の散策をしてみました。

今学会は 100 回目ということもあり、記念グッズやモニュメント以外にも、医学の歴史を振り返るような展示品が多々ありました。歴史ある物品が陳列されていました。

また、医学のクイズがありました。一つの症例につき、3問ずつあり、2問目までは診断や疫学的内容でしたが、3問目は論文の名前や発表年などかなりマニアックな内容でした。

初見で前問正解できる人はかなりすごいと思われまます。

その後は、お土産を買い、無事に日本に帰国しました。



医学の歴史を振り返る展示物の一つ。他にも多数の展示物がありました。

初めての海外がシカゴで RSNA の第 100 回大会という記念すべき大会に参加させていただき、大変貴重な経験をさせていただきました。またその記念すべき大会で東南先生と長田先生が賞を受賞されていたのが非常に印象的でした。

海外の学会は日本と違うところも多く、戸惑うこともありましたが、一緒の飛行機で出発された長田先生や岩本先生、東南先生を始め、内田先生、久能先生と大変お世話になりました。

また、参加させていただいた医局に大変感謝しております。

今回の学会で受けた刺激や経験を日常診療にも生かしていきたいと思ひます。